

第十五回

蓬田村農林水産物

総合品評会開く

蓬田村農業協同組合、蓬田村公民館主催による第十五回蓬田村農林水産物品評会は十一月十一日蓬田小学校において開催された。

今回はこれからの本村の農業経営の合理化、かつ近代化して行く意味から、俵米、株稲、小麦、人参、ごぼう、てんさい、馬鈴薯の十一品種を特に奨励品種とし、その他の農林水産物、農村食、絵画、羊工品等は参考品種とした。

Table with columns for award level (一等, 二等, 三等), item name (e.g., 俵米, 小麦), village (e.g., 阿弥陀川, 森), and name (e.g., 小留吉, 小昭夫).

審査を終つて 審査長 張間 亀 男

努力された点が見受けられた今後品質向上を計るためには奨励品種の作付、適期、病害の防除、乾燥法の改善等を要望します。

衛生の被害果であることも、今後の生長作物として充分考慮し、勉強する必要があります。

蓬田音頭歌詞懸賞募集

一、発表 三月中旬 一、入賞 入選 一編 賞金 三、〇〇〇円

十二月一日 女子青年建設班開講す

昭和三十八年度 成人式のおしらせ

引揚給付金等支給法の改正について

遺族会役員会開催さる

山谷 俊雄

民生児童委員改選さる

蓬田村内各部落農業指導者

東北、關東地区農業視察録

蓬田村長 坂本大博

近年における第一次、第二次産業の伸張は目ざましいものがある。他産業がどんどん進歩発達する中であつて、農業だけが取り残されようとしてゐる。

当地方の農業経営面において、その労働力は、第二次、第三次産業へ吸収されていき、第三次に農業労働力の欠乏が目立ち始めてゐる。また、零細かつ未区画整理耕地は近代化を要求され、経営の機械化合理化が叫ばれながらも、その解決には、まだまだ程遠い現状である。従つて農業経済は日増しに他産業との格差を振り出し、ますます大きくなつて来た恰好である。

政府は昨年六月最悪の条件下にある日本農業を、国の責任と農民一体の力を基調として振興せよと、農業基本法を制定した。そして十年計画をもつて日本の農業を世界の水準まで高め恒久的農業の基礎の確立を期して、新農山振興三ヶ年計画を打ち切ると共に、農業構造改善事業を押し進めることになつたのである。

そこで村としてもこの農業構造改善事業の重要性に鑑み、本年度当初予算に相当額を計上して試みた視察である。

視察参加者については、(1)各部落一名当り (2)農業従事者であること (3)年令は三十代(又は四十代)であること

右のうちで理解と指導力実行力に富める積極的な人物といふ一応の基準で、村勸業、農協改良普及事務所会議の結果参加者を選考した。

第一日程 (1)大曲南部産米改良組合 (ライスセンター)

日中の気温は三十六度以上一行は汗だくで飯詰駅下車、土地の者に場所を聞いた、敷キヨ以上あるとのこと。折よく来合せたバスにのり、直ちに大曲南部改良組合に向う、このセンターは、隣接三農協が共同で経営してゐる。

この地方の水田耕地は本村より少なく、二町歩以上のいわゆる大田作りは部落で一、二戸のこと。従つて平均反別も少い。しかしその殆んどが区画整理(一反歩区画)されてゐる。

反取も格別多いという訳でもなく、本村の稲作栽培技術と大差のないような印象を受ける。又、部落戸数も一、三十戸程度である。

センターは新農村事業で施工し、規模は一度に五百俵乾燥、直ちにベルトコンベアーで精米機からその場で供米が包装される。

生産者は刈取二、三日で脱穀すると現場から農協の自動車でセンターに運ばれ、仕上げと同時に倉庫入り迄全部請負の作業である。

乾燥機の中にあるうちに等級も定められ、立会人は本人の希望があればする程度、農繁期中の人手不足の上から誠に合理的である。経費は予約で一戸当り一五〇円あればよいといふ。

年間供米量は、三農協で一五〇〇〇俵、本村に比較して半分弱といふところである。一行が訪れた時、センターでは四台の機械で盛んにカマスを織つてゐた。

やつぱり最近百姓へ嫁の来手がなく、就職出稼ぎが増えて来たことであつた。程なく来合せたバスに乗り、飯詰駅に至り、伺つて見たところ大田村までは三里ぐらゐあるとの事、取り急ぎタクシーに便乗かけつけが、止つたところは仙南町役場。先着者の話ではここではなく、大田村役場でないか駄目だといふ。ひとまづ仙南町役場で次の乗物を都合することになつたが、役場は設備からサーピスから仲々立派な役場で収入役と勤業係直々のもてなしに一同恐縮した。程なくタクシーの都合がついて目的地の大田村役場に向う。途中、見事に区画整理された田園を眺望しつつ、二十分程して大田村役場に到着。大田村役場は二ヶ村合併だそう、田園の中の殿堂といつた感じであつた。

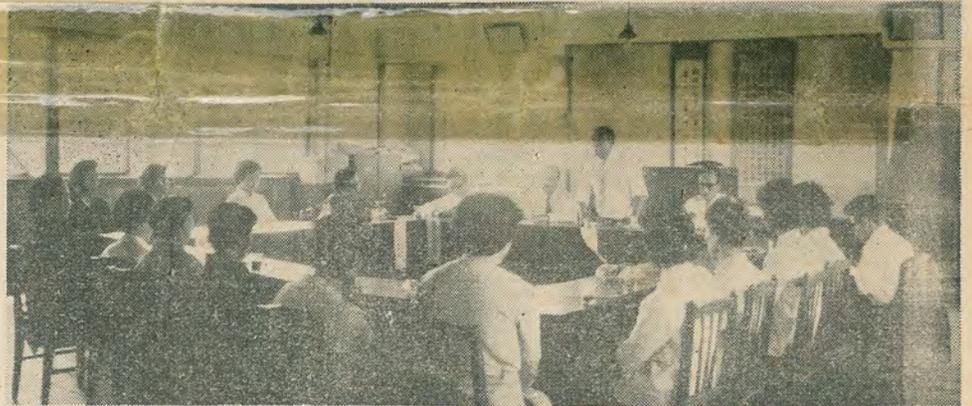
生憎当日は、村長助役とも不在で、総務部長、区画整理係長と県派遣担当技術職員に会い、本視察団の顔ぶれを紹介し、目的等を申し上げあひさつた。説明を頂いた訳であるが大変親切な、また真剣な説明で得るところが多かつた。

大田村の区画整理事業は村直営の全村施工計画であることが一つの特色である。事業の沿革は未整理地区一、七八〇町歩にあつては、現在まで区画整理事業の必要性を受益者すべてが痛感し、再度計画されたもので、現在は部分的に行われてゐるが、本計画の如く全村一本の計画に至らなかつた。しかし時代の変転に伴い、農業形態も年々変化し土地の利用度を増進することが急務となり、昭和三十一年度より本格的に調査に乗り出し、三百万余円の多額の経費を費して計画を完了、昭和三十三年度より事業に着手して現在に至つてゐるといふ。

現在に至つてゐるといふ。添えるならば旧長信田村、旧

蓬田村国保保健

協力員辞令交付式



蓬田村の保健活動の協力者として去る九月十二日、若佐イセ、坂本ヨシ、藤本みき、藤本富代、森サキ、野藤あい、津島昭恵、清水キクエ、宮田たき、畠山みさお、大宮マツ、田中トキエ、久慈イト、山口チエ、佐井キ、久慈りせ、高橋ちたの十八名が委嘱された。

以上大田村の事業の概要であるが、特に得た教訓としては各工区(部落)に推進委員会を作り啓蒙した事、特に農林省開拓地の整理田に刺激を得た事、村直営の場合各工区受益者に積極性が乏しい事等である。

但し統一的な農村造りとして考えればよきもあるが、施工段階において各工区毎に責任を与え、それを村が統轄指導援助する方法も一案と考えられる。

従つてこの工事の状況はまかせきりである様で農民個々の労働賃金換元が何等見受けられない。

土工不足の今日、どうかと思われる点は県派遣職員も認められてゐた。

尚事務体系は役場職員四名、県派遣技術職員一名、臨時職員は各工区一名計七名である事務的説明の後一行は役場小型自動車で県派遣職員に案内されて全地区の实地視察を行つた。

(右全)

蓬田村役場 村長 坂本大博 助役 田中一雄 収入役 八戸倉次郎 評価委員 柿崎喜代作 外職員一同

蓬田村教育委員会

委員長 久慈留太郎 代理 細谷与三郎 教育長 八幡周太郎 事務局 福井慶造

蓬田村議会

議長 武井一郎 議員 佐井幸四郎、坂本貞教、坂本甚五、坂本彌九郎、坂本八太郎、倉谷八太郎、八戸要助、吉崎慶次郎、大宮金助、加藤喜代作、山館誠弘、山口与八、山中吉兵衛、稲葉善助

新年賀謹

第二回全国農村青年

中央研修会に参加して

蓬田村大字中沢 坂本重彦

全国農村青年中央研修会は、日本産業開発青年協会の主催で十一月十四日から十六日まで三日間、岡部市立中央青年の家で開かれた。当村からは坂本洋一君と小生と、はじめての参加であり、また中央青年の家は、どんな目的で、どんな建物か、研修会の目的も内容等もはつきりと把握もせず、ただ自分の人生感と将来の農村を考えると何かしら我々青年の夢をぶちこわされる様な、この不安な気持ちをどうする事も出来ず何かこの機会に我々農村青年に夢と希望をあたえてくれようとする、と大きな期待を持って中央青年の家の門をくぐった。

中央青年の家は日本一高く又美しい富士山をバックに海拔七一五mの所にあり、東富士の演習の真中にあり立派な美しい建物であった。でも「ドカン」という大砲の音に窓ガラスがガチャ／＼と、屋根も、ビシツという爆音には度々を抜かれた。中央青年の家の約束事項として、

- (1)人にめいわくをかけない事
- (2)規律正しいおりのついた生活をする事
- (3)自発性の生活をする事

食卓等もデラックスです。すべてアブターサービスであった。起床は六時三十分、消灯二十時。その中にはビシツリ日程が計画され、むしろ生活生活の様には感じられた。参加人員は一〇八名で青森県からは五名平均年齢が二五

二六才位でただ一つおどろいた事は主軸になる農業従事者があまりにも少ない事であった。日程表にしたがつてその内容に小生の考えている事を付け加えて御説明いたします。十四日開会式の後十四時より明治大学寺田由永先生の講義「自由化の下における日本農業の現状と将来」というテーマでお話された。

OEEC、EECが大きく伸ぶのに我が国でも貿易自由化がすすむにつれその影響は大きなものになる。炭炭、自動車メーカー等の設備投資過剰が目に見えてくる様です。例を上げると自動車メーカー、トヨタ、ニッサンの競争激化する前にカルテル、トラストという様な共同化体制で産業全体へ国家資本投資の手当が必要となつてくるでしょう。

その様な現状において農業はどうなるであろうか?直接的影響として日本より安い作物がど／＼入つて来ると生活が出来なくなるでしょう。間接的影響として恐慌に当る可能性が充分にある。それは自由化して産業が栄えれば農業から産業へと人の移動が考えられ、又反対に悪くなればその逆になるでしょう。その中で今の日本の現状は生産コストを比較してみても先進国は高労働大規模で低コストである。また後進国は低労働で極端

他の条件もあるでしょうが、現在の青年団をむしる国民が必要としないのでは無いだろうか。その証拠として新進国に向う可能性もある様に考えられる様です。その昏迷している原因は、どこにあるのだろうか。(1)腕を使う農業の部を脱皮して、かすか物(機械)を使う段階にきている日本農業である先進国になるには労働組織の体系(ペルトコンベア式)になる事が条件の様です。現在その様にならないのは若者の職業であるからでしょう。

- (1)土地所有者の問題
- (2)人と人の社会問題
- (3)土地所有の形態の歴史
- (4)土地所有の問題
- (5)人と人の社会問題
- (6)土地所有の形態の歴史

これからは目的集団に青年団も変え根本の活動は上からの押しつけでなく、下からの盛り上がりなもので、地域性を生かし、多種多面の人を集まりではあるが、皆んなが一致している。レクリエーション、個人的なものまで見だし、それを気軽に実行出来る皆んなのいこの場所である事が大事だと思ふ。

それから皆んなの意見を聞き、政治、経済、農業技術等の学習活動に入つて行く事がポイントとあがる手段の様に考えます。歴史的に見て特に今の農村青年ほど重い使命をおわされている者がいない様に感じます。勉強する事を忘れない、妥協する事のない健康な青年になる努力をいたします。十時より岩手県胆沢郡、胆沢町青年建設班補道者渡辺勲さんが「私の構造改善と建設班活動」というテーマで特に水田の乗用トラクターによる機械化部隊について発表された。

広島県高宮町青年建設班代表者の後十三時より「農村生活を如何に革新するか」とのテーマで新利根の協同組合長

上野清先生がお話しされた。農業を好きで行なっているか嫌いで行なっているかは天動説と地動説にひとしく、嫌で農業をしている者、また我々が楽しい生活を望むイデオロギには協同化は不可能である。日本の農業の行き詰まりの原因について個条書にします。

- ①農業経営だけが普通に行われている
- ②指導のあり、多角化経営から一本化経営、また競争主義
- ③協同精神の崩壊
- ④資本効率の低下
- ⑤労働効率の低下
- ⑥土地利用の低下

この六項目は二十世紀の奴隷の条件でありまた貧乏の条件にもなる様です。この条件から脱皮するために次の新しい農業の理念が必要だ。

- ①立身出世主義からの自己解放
- ②所有主義から利用主義への移行
- ③収入の増加
- ④共存共栄
- ⑤八時間労働
- ⑥経営の安定

新しい農業には指導者はない。只先駆者あるのと呼び我々を励まして、以上の様な事をお話された。

三日目十六日九時からシンポジウム「あすの日本をどうするか」というテーマで、社会福祉制度について和田耕作先生、あすの農業について豊登先生、あすの日本経済について加藤憲先生、司会高木那雄先生のもとに皆んなの質問に対して時間一杯まで答えられた。

短い三日間ではあつたが、われわれに多くのアイデアと今の日本を聞き誠に有意義なものであつた。

人間が人間らしくいきるためにこの人生に一体何があるのか、また偉くなくともい百

若人の

現代のエチケツト

男は車道に近く

男と女が街頭をつれだつて歩くと、男が車道に近い側を歩き、女が内側(すなわち軒先に近い側)を歩かせるのがエチケツトである。といつても、これはけつして形式だけのエチケツトではなく、むしろ往來を馬車が走つていた時代、馬が物音におどろいて暴走したりしたとき、ご婦人が車道の近くを歩いては危険だが、男が車道に近い側を歩いていけば、婦人をかばうことができて都合であるといふところからはじまつたエチケツトである。

ところで馬車の時代はすぎたが、今だつて、たとえば雪解けのぬかるみ道を自動車が通りすぎて、ハネをばしていつたりすると、男が車道に近い側を歩いていけば、ご婦人の衣裳をよごさず済む、あつぱれ騎士の役割を果たすことができるから、現代にも適用するエチケツトとして、生きのびているわけである。

ナプキンのもどし方

正式のデイナーパーティーなどに招かれていくと、食卓に花びらのようなカッパに畳んだナプキンがおいてあつたりするが、さて食事のすんだあと、あのナプキンはどうすればよいか。

もどし方

正式のデイナーパーティーなどに招かれていくと、食卓に花びらのようなカッパに畳んだナプキンがおいてあつたりするが、さて食事のすんだあと、あのナプキンはどうすればよいか。

もどし方

正式のデイナーパーティーなどに招かれていくと、食卓に花びらのようなカッパに畳んだナプキンがおいてあつたりするが、さて食事のすんだあと、あのナプキンはどうすればよいか。

病氣見舞の花

病氣見舞に季節の花をもつていつたり贈つたりするのはごく普通のこと、病人の眼をなくさぬ意味からいって、花はしごく妥当な見舞品といえるが、ただあまりに濃い花や、どく／＼しい色の花は、病人の神経を刺激して不適当な場合もあるからなるべくさけた方がよい。

また花についてはむかしから切り花はクワイのちが短く、ツバキはクワイのちが落ちるゝゝとか、鉢植えの花は根づくゝゝとか、いろいろの縁起をかつぐ人がいるもので、氣にしないといふとキリがない。

いまはまさかそんなにいちいち迷信ぶかいうけり方をする病人もいないとは思ふが、せつかくもいつて病人を不愉快にしても氣の毒だし、病人に機嫌を悪くされても、こつちは割りに合わない話だから、相手によつては花はやめて、ほかの見舞品を考えた方がよい。

紹介状をもらつたら

紹介状を書いてもらつたら、あまり時日のたたないうちに先方の人に会いにいって、なかなかな面会のチャンスのかめない相手ならともかく、たやすく会える人に、一月も前の日付になつていて、紹介状をもつて会いにいけるはおかしい、ひよつとすると、紹介状をもらつたので、やむを得ず会いにきたんじやないかと先方では氣をまわすかもしれない。

紹介状をもらつたら

紹介状をもらつたら

紹介状をもらつたら

紹介状をもらつたら

編集後記

今後あらゆる村内産業経済行政、教育等批判なり希望意見のスペースを設けることになりましてから奮つて御投稿願います。

絶対その秘密を守り、人権を保護致します。

「郵送でもよろしい」

蓬田村健康相談室欄を設けましたから、健康に関することがありましたらご投稿願います。

編集者

編集者

編集者

編集者

編集者